

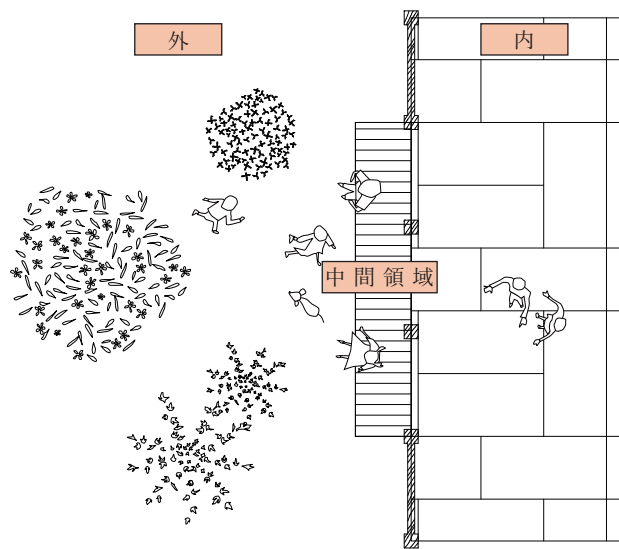
縁側窓で暮らす



縁側を“通路”から“活動空間空間”へ

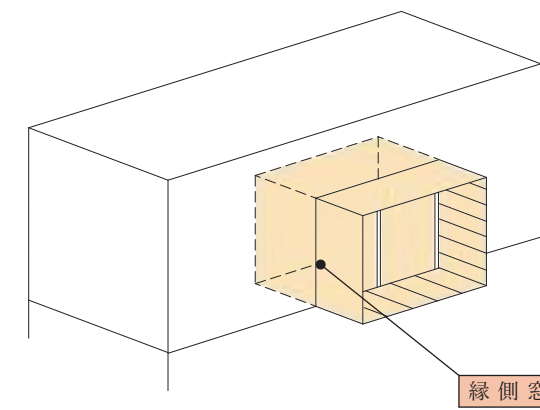
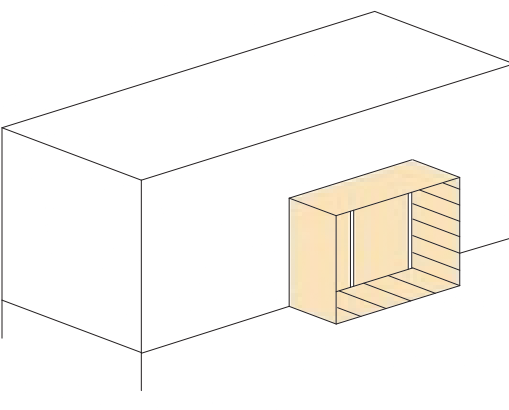
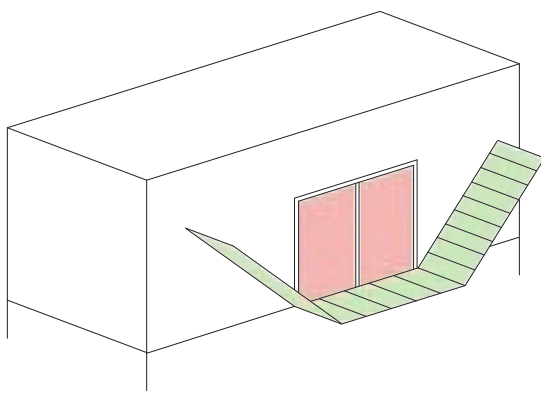
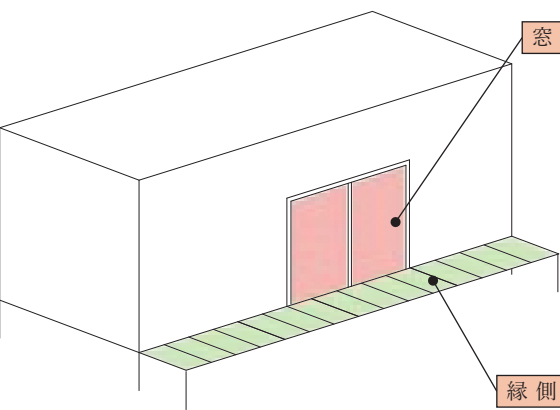
縁側とは...

縁側を領域から空間へ

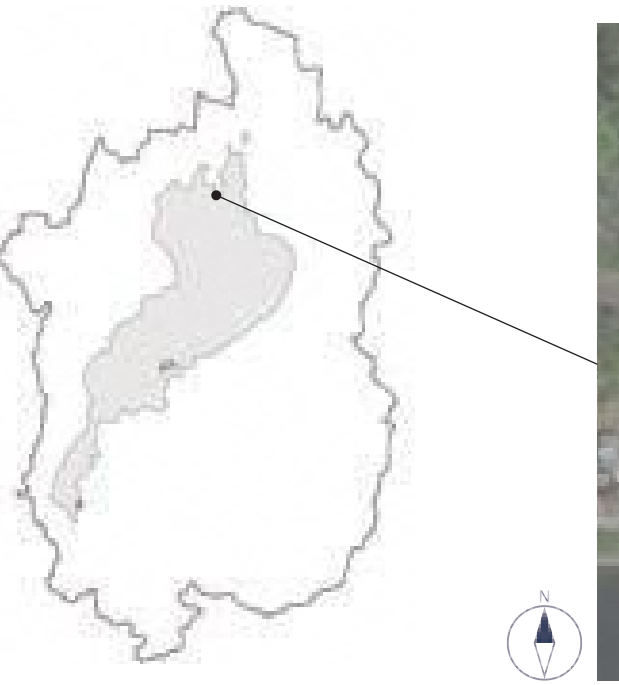


通路を兼ねた建築の内で
も外でもない心地よさの
ある中間領域。

縁側を窓に巻き付かせることで“縁側窓”を創出し、縁側を窓と縁側のみで構成される
“活動空間”へと用途変化させる。またその空間がボリュームへと延びていくことで縁
側窓の中間領域が建築内部へと引き込まれる。



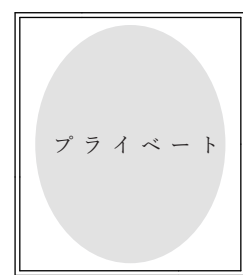
滋賀県の持つ多様な自然環境



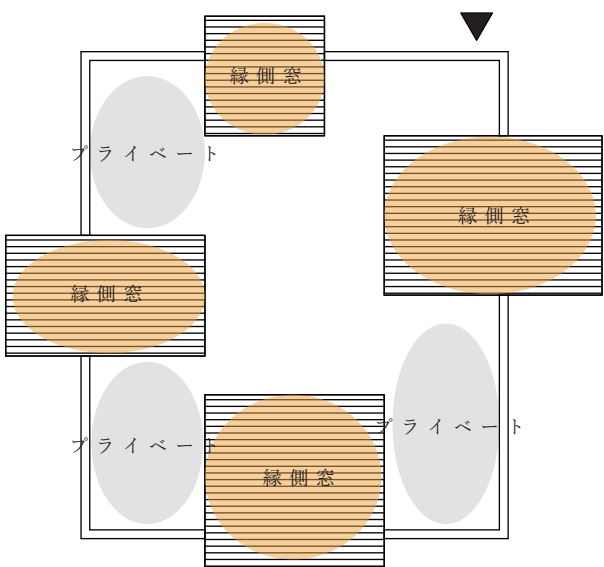
敷地は滋賀県北部に位置する長浜市。奥琵琶湖パークウェイの山道の入り口に位置する丘に設定する。四方を異なった自然風景に囲われ、南側では丘の上から琵琶湖を一望することができる。

- ↑ 北 標高約400Mの菅浦山を望む
- 東 滋賀県特産の近江米を生産する小規模な棚田
- ↓ 南 日本一の湖琵琶湖を一望する
- ← 西 雑木林が生い茂る
- 対象敷地

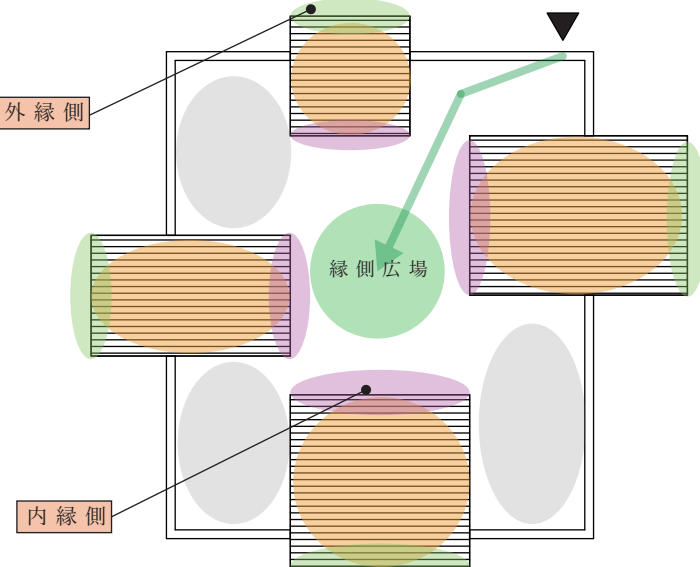
縁側窓から滋賀県の景色を楽しむ



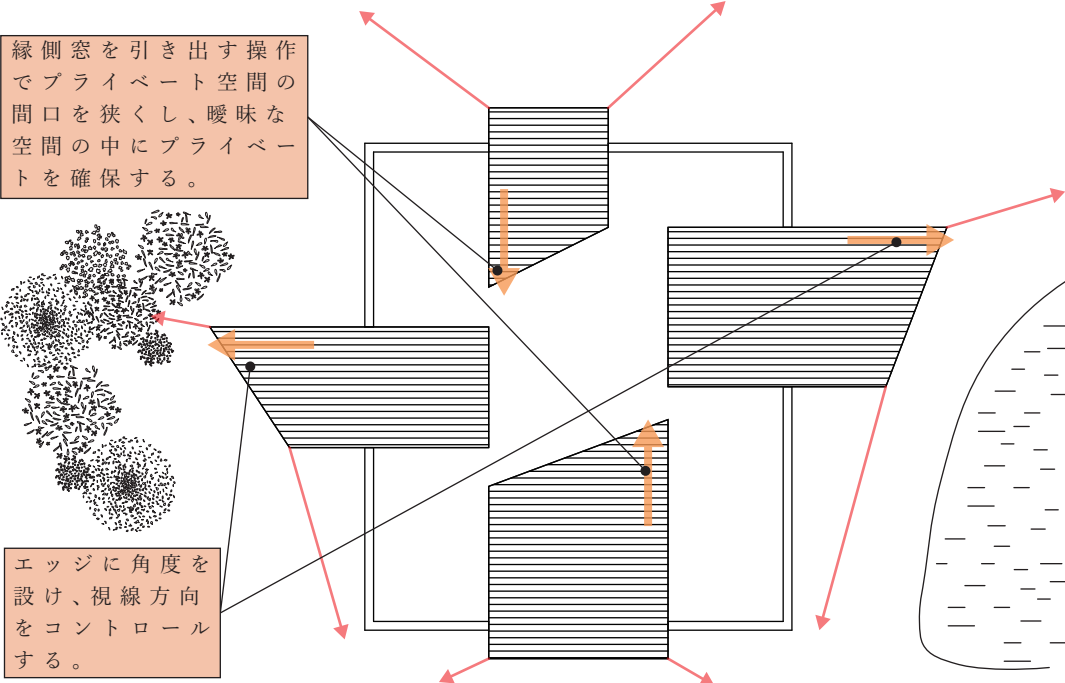
無機質なボリュームの内側
にプライベート空間
を挿入する



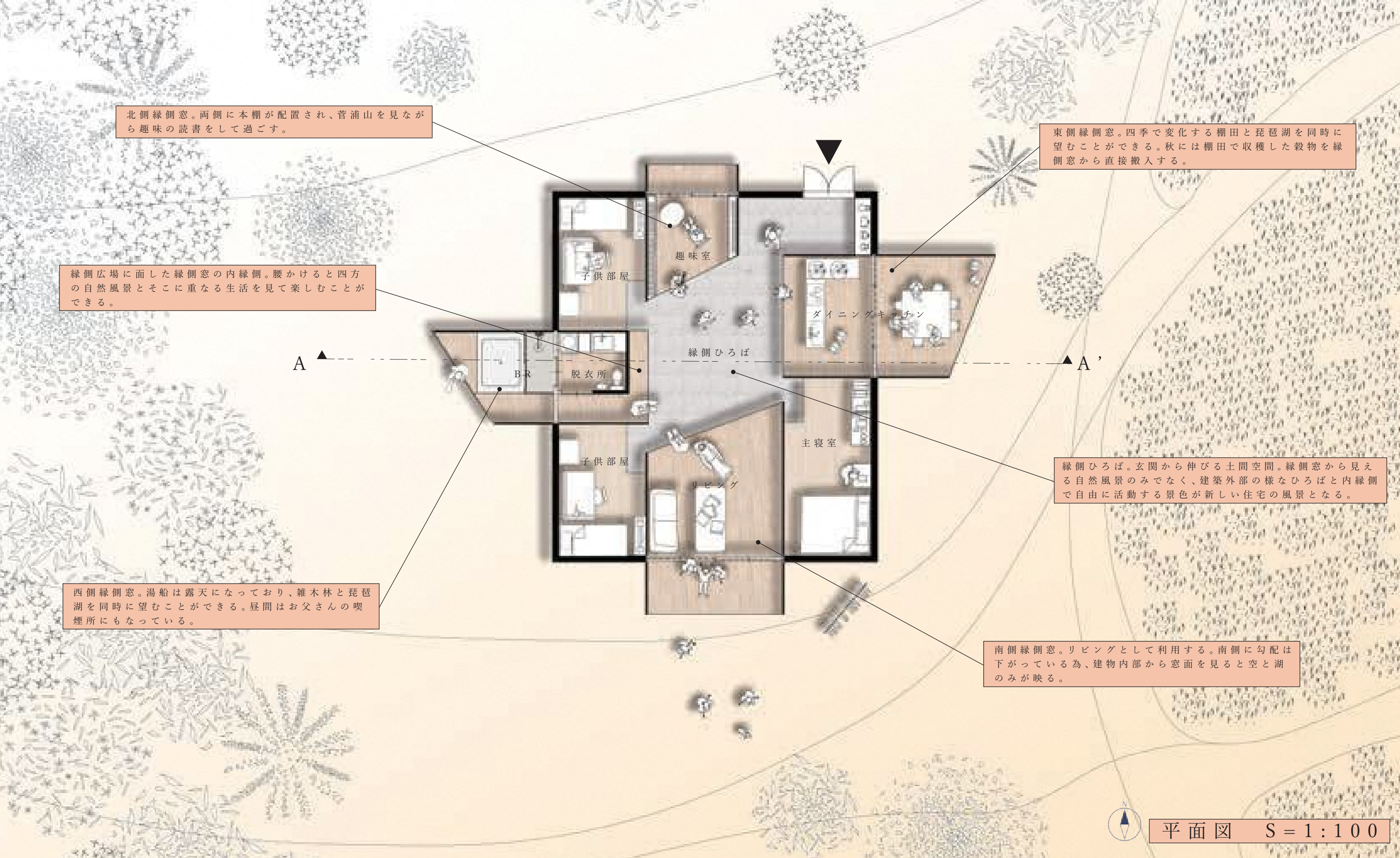
縁側窓が内部まで中間領域を引き込み、そこで生まれた空間がプライベート空間を構成する。



玄関土間を中心まで引き込み、四方の景色を見渡せる内縁側を設け、建築の内外を更に曖昧にする。



景色の条件に合わせて縁側窓の端部を引き出し視線方向に変化をつけ、住宅と自然風景を近づける。



北側縁側窓。両側に本棚が配置され、菅浦山を見ながら趣味の読書をして過ごす。

緑側広場に面した緑側窓の内縁側。腰かけると四方の自然風景とそこに重なる生活を見て楽しむことができる。

東側縁側窓。四季で変化する棚田と琵琶湖を同時に望むことができる。秋には棚田で収穫した穀物を縁側窓から直接搬入する。

緑側ひろば。玄関から伸びる土間空間。縁側窓から見える自然風景のみでなく、建築外部の様なひろばと内縁側で自由に活動する景色が新しい住宅の風景となる。

西側縁側窓。湯船は露天になっており、雑木林と琵琶湖を同時に望むことができる。昼間はお父さんの喫煙所にもなっている。

南側縁側窓。リビングとして利用する。南側に勾配は下がっている為、建物内部から窓面を見ると空と湖のみが映る。



平面図 S = 1 : 1 0 0

各方位VIEW



東側

西側

南側

北側

緑側窓のある風景



無骨な四角形のボリュームへの京都の杉ヒノキの縁側窓の挿入により賑わいのある生活空間へと変える。

内縁側からは、各方位の景色とその縁側窓の活動がレイヤードした景色を楽しむことができる家を提案する。



A - A' 断面図 S = 1 : 1 0 0